

2025年9月期 第1四半期 決算補足説明資料

ティアンドエスグループ株式会社

(東証グロース 4055)

2025.2.14



T&S

Technology & Service

ハイライト	p. 3
決算概要	p. 4
営業利益の状況	p. 6
カテゴリー別売上高	p. 7
取引先別売上高	p. 8
四半期別売上高・営業利益	p. 9
主要取引先動向	p. 10
エンジニアの状況	p. 11
損益計算書	p. 12
貸借対照表	p. 13
トピックス	p. 14
業績予想進捗率	p. 18
株主還元	p. 20

(今期のテーマ) 何かが始まる

1 売上高、利益ともに**過去最高**を達成(過去同四半期比)

売上高	: 9億 21百万円	(10.0%増↑ 増加額: 83百万円)	(前年同四半期比) ※
営業利益	: 1億 55百万円	(12.7%増↑ 増加額: 17百万円)	(同)
経常利益	: 1億 55百万円	(12.8%増↑ 増加額: 17百万円)	(同)
四半期純利益	: 1億 2百万円	(1.4%増↑ 増加額: 1百万円)	(同)

※ 決算期変更により前年1Qは12月から2月までの実績となっております。

2 全カテゴリー順調に推移。中でもAIソリューションが好調。

- ▶ AIソリューションカテゴリーの売上高は122百万円となり、前年同期比87.7%の大幅増。AI需要の高まりから当社への引合いが大幅に増加した。
- ▶ DXソリューションカテゴリーの売上高は前年同期比2.3%増の524百万円、半導体ソリューションカテゴリーの売上高は前年同期比5.6%増の275百万円となり全てのカテゴリーにおいて順調に推移した。

3 子会社が本格始動へ。

- ▶ TSシステムソリューションズは順調に業務領域拡大中。
- ▶ エクステージのグループインが決定。半導体領域の受託開発業務の強化につなげる。
- ▶ ティアンドエスからイントフォーへの業務移管に向け、必要な許認可取得を推進中。

決算概要

2025年9月期 第1四半期

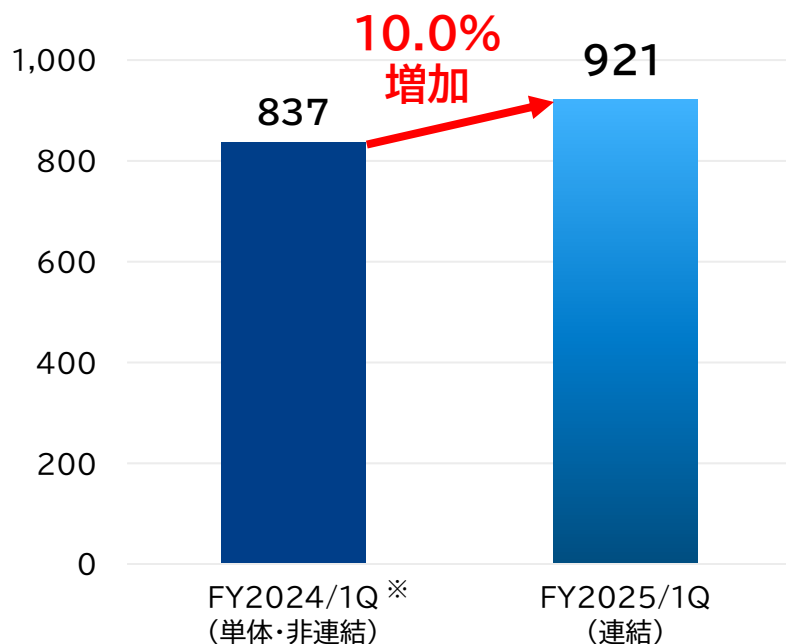
第1四半期の過去最高の業績を達成

(過去同四半期比)

売上高	: 9億 21百万円	(10.0%増↑	増加額: 83百万円)	(前年同四半期比)
営業利益	: 1億 55百万円	(12.7%増↑	増加額: 17百万円)	(同)
経常利益	: 1億 55百万円	(12.8%増↑	増加額: 17百万円)	(同)
四半期純利益	: 1億 2百万円	(1.4%増↑	増加額: 1百万円)	(同)

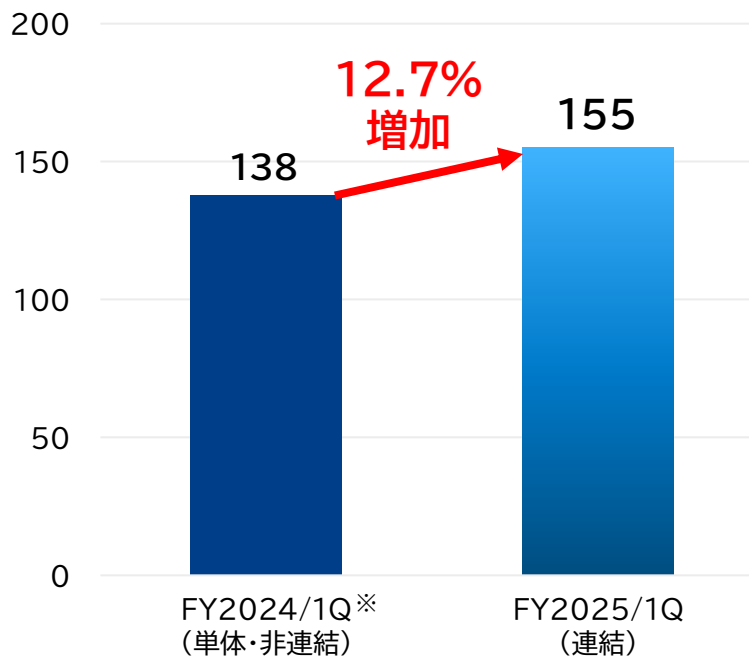
(単位:百万円)

売上高



(単位:百万円)

営業利益

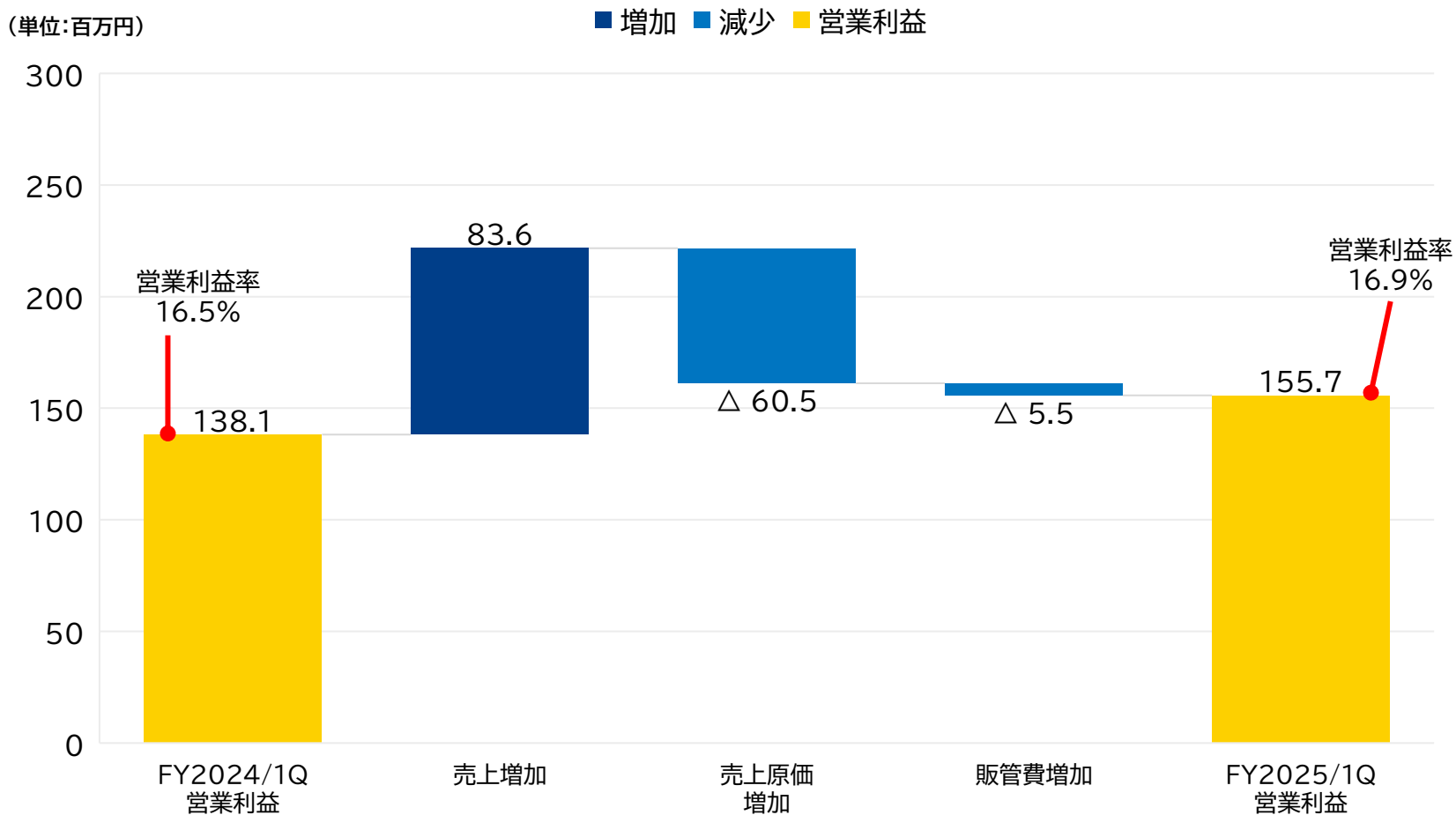


※ 決算期変更によりFY2024/1Qは12月から2月までの実績となっております。

営業利益の状況(FY2025/1Q)

持株会社化のための特殊費用がなくなり、
17百万円の営業利益増。営業利益率も改善。

(前年同四半期比)

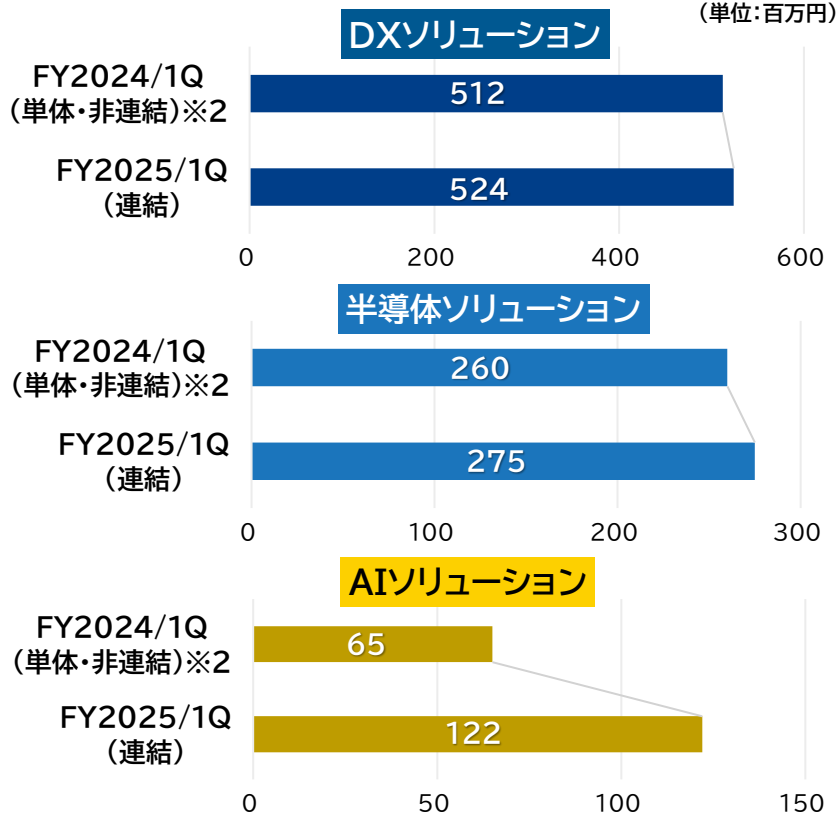


カテゴリー別売上高(FY2025/1Q)

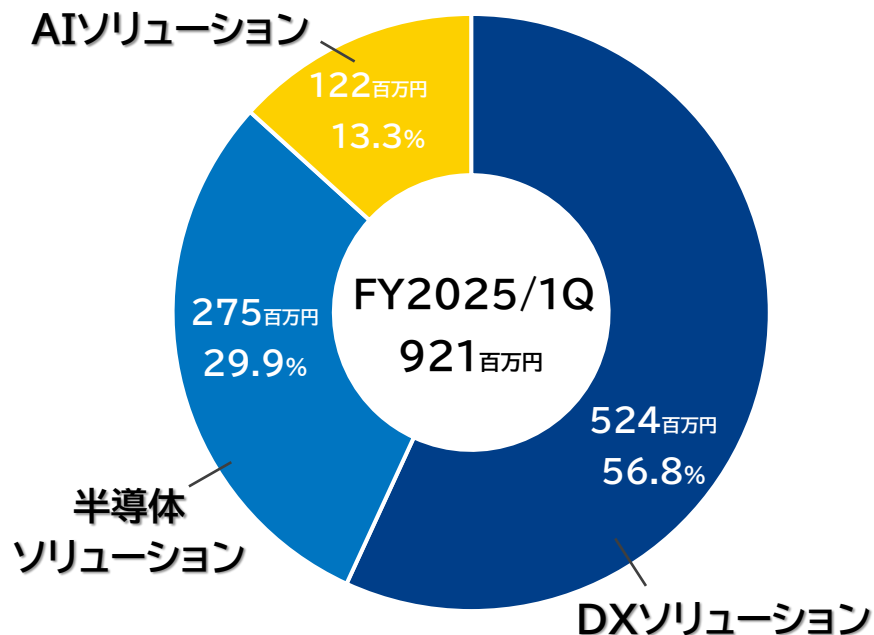
AIソリューションの売上高は**122百万円**で大幅増
DXソリューション、半導体ソリューションともに順調に推移

売上高(カテゴリー別) ※1

(単位:百万円)



売上比率(カテゴリー別) ※1

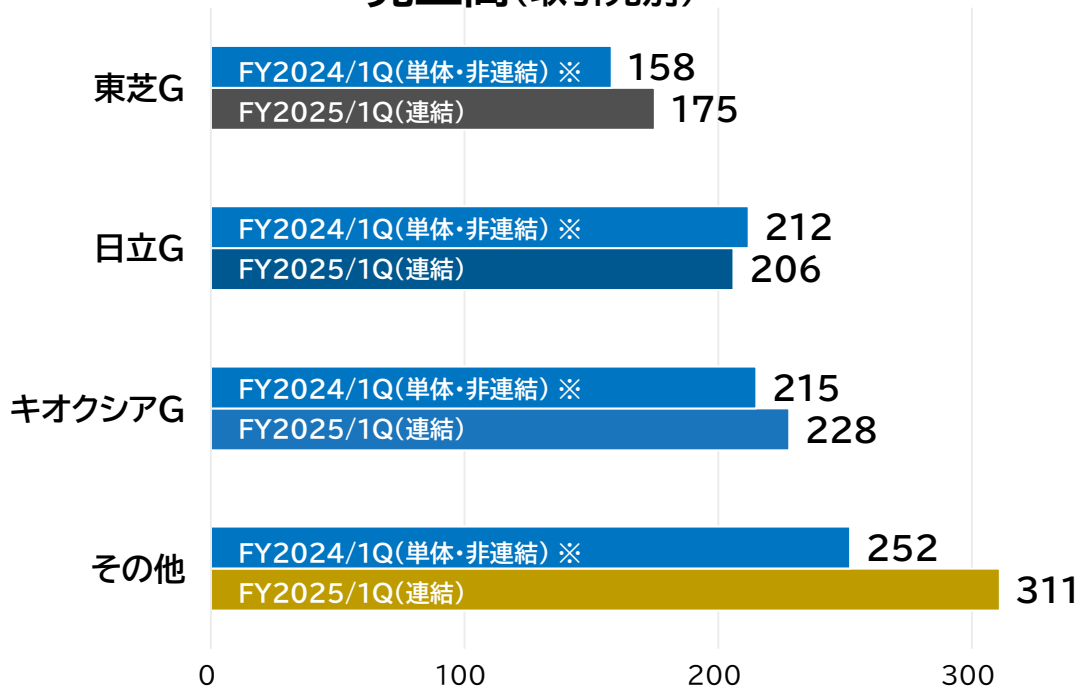


※1 当社グループの事業セグメントは単一セグメントです。
売上高のみカテゴリー別に集計しております。
※2 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。
2024年9月期 第1四半期は非連結の実績を記載しております。

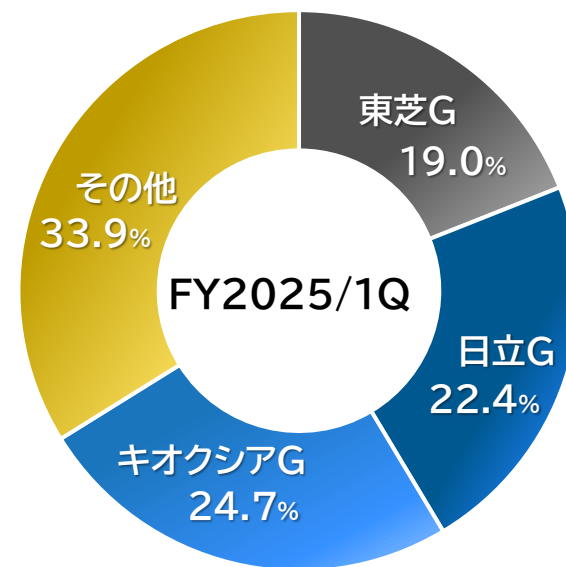
取引先別売上高(FY2025/1Q)

東芝G、キオクシアGが順調に増加
その他取引先も大幅伸長

売上高(取引先別) (単位:百万円)



売上比率(取引先別)



※ 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。
2024年9月期 第1四半期は非連結の実績を記載しております。

四半期別売上高・営業利益 (FY2025/1Q)

1Q累計売上高 : 9億21百万円

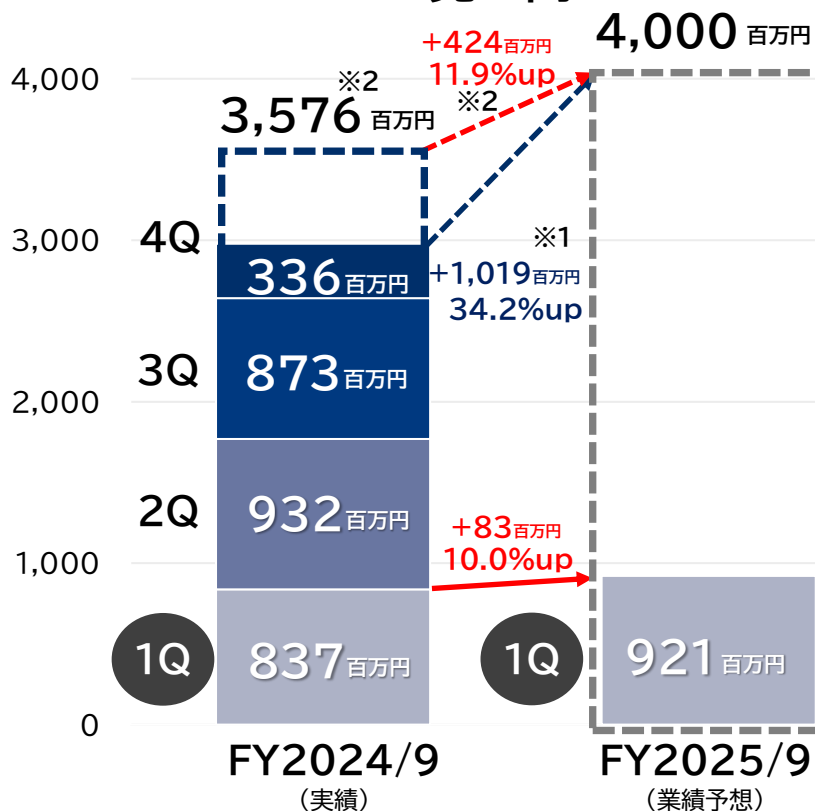
増加額: +83百万円 10.0%増加 (前年同四半期比)

1Q累計営業利益 : 1億55百万円

増加額: +17百万円 12.7%増加 (前年同四半期比)

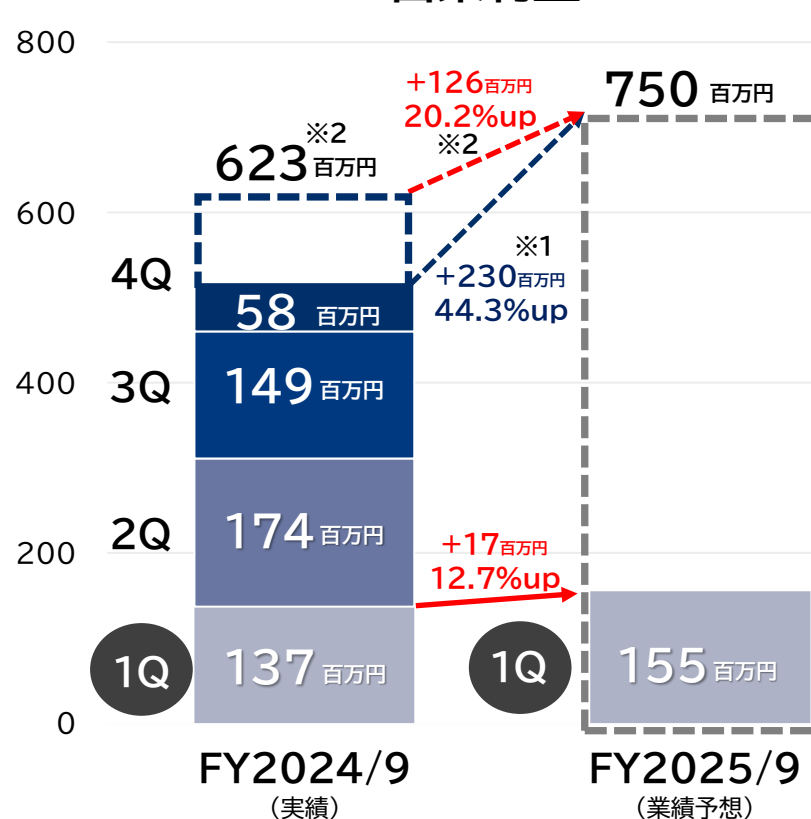
(単位:百万円)

売上高



(単位:百万円)

営業利益



※1 決算期変更に伴うFY2024(10ヶ月変則決算)実績との単純比較であります。

※2 12ヵ月換算の参考値としてFY2024通期実績に12/10を乗じて算出した値との比較であります。

(全体)主要取引先動向

雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、国内経済は緩やかに回復しています。AI、高性能コンピューティングの需要拡大により、半導体市場は大きく成長する見通しです。設備投資は持ち直しの傾向が見えており、ソフトウェア投資は増加傾向です。このように、当社グループを取り巻く事業環境は順調に推移する見込みです。一方、物価上昇やアメリカの今後の政策動向、金融資本市場の変動等の影響には十分注意が必要です。

東芝G

半導体の市況回復の遅れにより減収となったものの、HDDや発電システムなどが好調に推移し業績は順調に推移しています。エネルギーや社会インフラ分野を中心に当社グループへの引き合いも順調に回復傾向です。

日立G

ITサービスを担う「デジタルシステム&サービス」セグメントにおいては、クラウドやセキュリティ関連等のLumada事業が好調に推移しています。堅調な国内外のデジタル需要を背景に増収、増益は今後も継続する見通しであり、当社グループへの引き合いも増加が期待されます。

キオクシアG

2024年12月に上場。需給バランスの改善による販売価格の上昇、フラッシュメモリの需要回復や出荷量増加により業績は好調に推移しています。大容量ストレージ需要の高まりやAI関連サービスの普及によりフラッシュメモリ市場の中長期的な成長が期待されます。2025年秋の北上工場第2製造棟(K2棟)稼働開始に向けて、当社グループへの引き合いの増加が期待されます。

その他

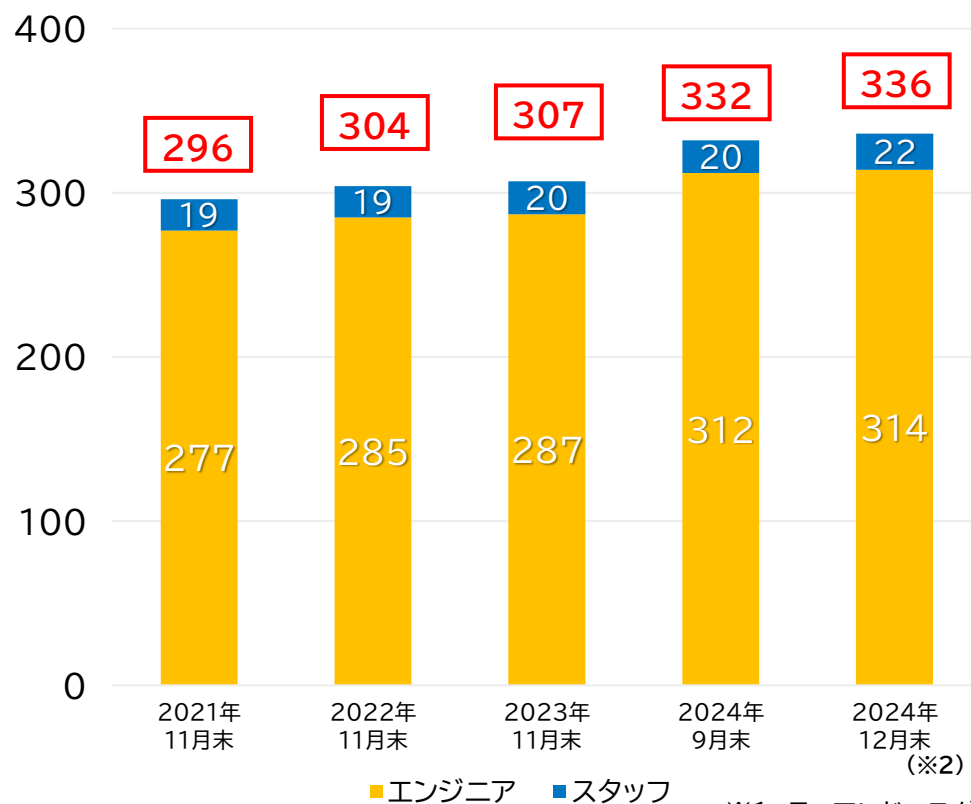
当社グループの主要取引先大手3グループ以外の顧客からの引き合いが、引き続き好調に推移しています。旺盛なAI需要やDX化など当社グループを取り巻く事業環境は今後も順調に推移する見通しであり、引合いの増加が期待されます。

今期目標(377名)達成に向け推進中

子会社との連携強化によりエンジニアリソースの確保に努める

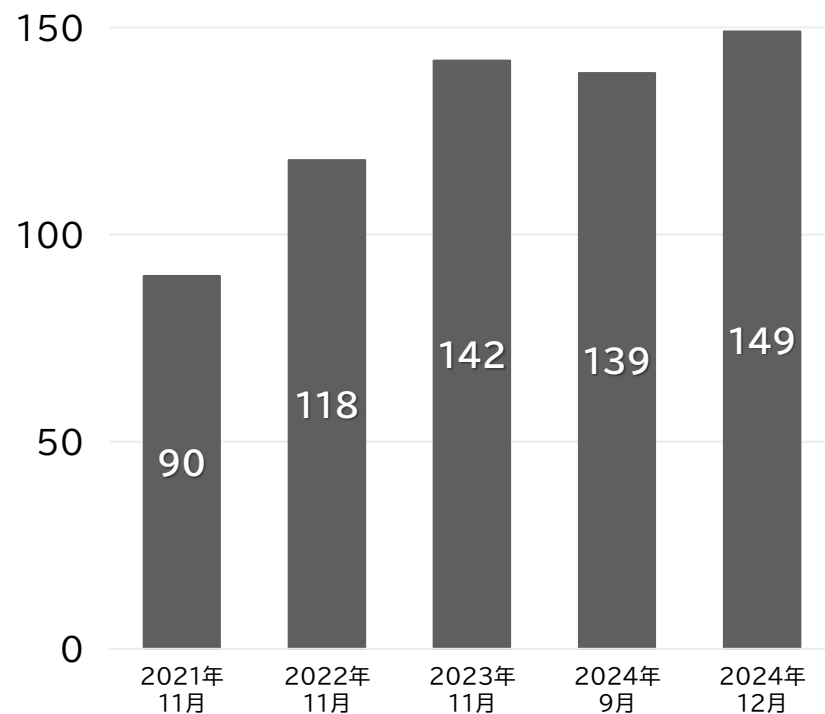
(単位:人数)

従業員数(※1) 推移



(単位:件数)

BP(※3)発注件数 推移



※1 ティアンドエスグループ全体






※2 第1四半期末時点

(したがって、1/31付グループインのエクステージ(株)の従業員数は含んでおりません。)

※3 BP…ビジネスパートナー 業務委託等の形態で当社業務に従事するエンジニア

損益計算書(FY2025/1Q)

損益計算書(FY2025/1Q)

単位:千円	FY2024/1Q (単体・非連結)	FY2025/1Q (連結)	増減額	増減率
売上高	837,993	 921,640	83,646	10.0%
売上原価	595,460	656,021	60,561	10.2%
売上総利益	242,533	 265,618	23,085	9.5%
販売費及び一般管理費	104,386	109,909	5,523	5.3%
営業利益	138,146	 155,708	17,561	12.7%
(営業利益率)	(16.5%)	(16.9%)		
経常利益	138,260	 155,959	17,699	12.8%
(経常利益率)	(16.5%)	(16.9%)		
四半期純利益	100,743	 102,195	1,451	1.4%
(四半期純利益率)	(12.0%)	(11.1%)		

※ 2024年9月期 第3四半期より連結決算に移行しております。

貸借対照表(FY2025/1Q)

単位:千円	FY2024/9 (連結)	FY2025/1Q (連結)	増減
流動資産	2,774,116	2,784,546	10,429
固定資産	146,982	161,208	14,225
資産合計	2,921,098	2,945,754	24,655
流動負債	424,302	414,067	△10,234
固定負債	60,985	62,152	1,167
負債合計	485,287	476,219	△9,067
純資産合計	2,435,811	2,469,535	33,723
負債純資産合計	2,921,098	2,945,754	24,655

トピックス

当社グループのティアンドエス株式会社は、
JAXA 宇宙探査イノベーションハブが実施した
第12回研究提案募集に研究提案を行い
2024年12月より共同研究を開始しました。

- 研究課題(ゲームチェンジ型課題 次世代モビリティ領域)
月面/火星探査ローバーや深宇宙探査機での
高精度・低消費電力・リアルタイムな自己位置推定技術
- 研究開発テーマ
カメラ画像による自己位置推定の統一的手法と
エッジデバイス搭載技術の研究開発

当社からの公表内容については、「第12回研究提案募集(RFP)に採択内定
～宇宙探査イノベーションに挑む～」をご覧ください。

<https://pdf.irpocket.com/C4055/Bv1s/XiIQ/ItzQ.pdf>

新たに国立大学法人東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センター(CIES)と 共同研究契約を締結しました。

共同研究の概要

研究題目	ロバスト性の高い画像認識技術の研究
研究目的	ロバスト性の高い画像認識アルゴリズムの研究開発による物体認識モデルの実用化
研究内容	<ul style="list-style-type: none">・ 特定環境向け物体認識モデルや汎用的な物体認識モデルの調査ならびにその実用化に向けた検討・ 環境/ターゲット/物体認識モデルの関連性から、精度向上のために必要なモデルの改修・実装およびデータセットの改良・ モデルサイズの圧縮・処理時間短縮といった最適化を施した上でのAIアクセラレータでの検証
契約期間	2025年1月1日から2025年12月31日まで(1年間)
実施場所	東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センター ティアンドエス株式会社

詳細は、1月20日付の「国立大学法人東北大学 国際集積エレクトロニクス研究開発センターとの共同研究のお知らせ」をご覧ください。

<https://pdf.irpocket.com/C4055/PEbr/yOqO/A6DW.pdf>

トピック③：エクステージ株式会社の株式取得(子会社化)

エクステージ株式会社(埼玉県久喜市)の子会社化が決定し第2四半期より当社連結子会社としてグループインしました。



名称	エクステージ株式会社
所在地	埼玉県久喜市上町23番25号
代表者	代表取締役 榎浦 紀光
設立	2008年4月8日
資本金	10,200千円
業務内容	ソフトウェア及びコンピュータシステムの企画、開発、制作、保守管理及びコンサルティング
HP	https://ex-stage.co.jp/

詳細は、1月22日付の適時開示「エクステージ株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」をご覧ください。

<https://pdf.irpocket.com/C4055/PEbr/Y7Xx/zOn7.pdf>

業績予想進捗率

2025年9月期 1Q現在

(テーマ) 何かが始まる

単位:百万円	2024年9月期 通期(連結・実績)	2025年9月期 通期(連結・予想)	2025年9月期 第1四半期(連結・実績)	進捗率(%)
売上高	2,980	4,000	921	23.0%
営業利益	519	750	155	20.8%
経常利益	520	750	155	20.8%
当期純利益	321	492	102	20.8%

T&Sグループ
全体

当社を取り巻く市場環境は好調に推移しており、当社グループ全体の業績も順調に推移する見通し。新卒・中途採用の強化やエクステージ社の子会社化により、エンジニアリソースが拡充の見通し。順次売上への寄与が期待される。

T&S
システム開発
事業本部

主要取引先からの継続案件及び新規案件の引合い多数、業績は堅調に推移する見通し。システム開発からシステム運用保守に移行する割合が高く、長期にわたる受注体制は今後も維持継続の見通し。新卒採用社員の育成強化と中途採用やBPなどエンジニアリソースの増強を進め、主要取引先の受注規模拡大及び新規顧客獲得による事業拡大を見込む。

T&S
ITサービス
事業本部

主要取引先からの引合いは引き続き増加傾向であり、業績は堅調に推移する見通し。当社の主要取引先である半導体メーカーでは、国内での安定供給体制の整備を目的に、最先端の半導体を開発・製造するための施設の増設、生産拠点の拡張が予定されており、半導体工場向けのITサービスは安定的に稼働する見通し。年間10%増の採用計画に従い新卒採用、中途採用を進め、人材の適正配置により売上、事業拡大を見込む。

T&S
先進技術
事業本部

前期から引き続き、生成AIサービスやエッジAIソリューションに関する引き合いが好調。業績は堅調に推移する見通し。先進技術の開発体制を増強し新規案件を取り込むことで事業拡大を見込む。

TSシステム
ソリューションズ

中途採用によるエンジニアリソースの獲得が順調に進捗。協業先との関係強化、新規案件の受注も進み、新会社として順調なスタートをきった。第1四半期後半の12月に入り受注が急拡大した流れは今後も安定的に継続する見通し。重点顧客での増員も確定しており、業績は堅調に推移する見通し。

株主還元

配当性向は10%を目標とします

配当の基本方針

当社は、**将来の成長が見込まれる分野における新しい技術取得への投資を通じて企業価値を向上させる**ことを経営の重要課題と位置付け、これを実現することが株主に対する利益還元であると考えております。利益配分につきましては、企業価値向上を実現するために必要な内部留保の確保を優先しつつ、業績を考慮した適切な配当について継続して実施していくことを基本方針としております。

2025年9月期の配当につきましては、上記方針に沿って配当性向10%程度の水準を目途に実施することとして、1株当たり8円を予想しております。

以上の施策を加味した財務指標は以下のとおりです。

	1株あたり配当金	配当性向	株主資本配当率 (DOE)
2024年9月期	8円00銭 内訳：普通配当 7円00銭 記念配当 1円00銭	18.9%	2.5%
2025年9月期 (予想)	8円00銭	12.3%	2.3%

お問い合わせ先

ティアンドエスグループ株式会社

経営企画IR部

Email / pr@tecsvc.co.jp

URL / <https://www.tecsvc.co.jp/>

本資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現や将来の業績を保証するものではありません。経済状況の変化や一般的な業界ならびに顧客ニーズの変化、法規制の変更等、様々な要因によって当該予想と大きく異なる可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。